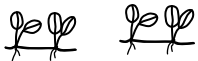
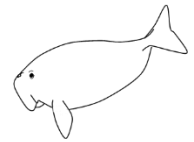


～沖縄の美（ちゅ）ら浜をいつまでも～
セミナー「砂浜のはなし」



寄せては返す波と戯れ、貝殻を拾い、時間を忘れて遊んだ幼い頃——。
たくさんの思い出と夢、そして多くの生き物たちを育む砂浜が、最近なくなってしまった…、変わってしまった…、と感じていませんか？

砂浜はどんな役割を持っているの？ なくなると、どうなるの？ いまどんな状態にあるの？
……

そんなあなたの疑問に、海岸工学の専門家である清野聡子先生（とっても素敵な女性ですよ～）がお答えします。身近な砂浜について一緒に考え、ざっくばらんに話し合ひましょう。どなたもお気軽にご参加ください。



清野 聡子（せいの さとこ）
九州大学大学院工学研究院環境社会部門の准教授。海岸や河川の生物の生育条件を中心に、環境保全と人間活動の両立の可能性を研究。専門は沿岸・流域環境保全学他。福岡湾に面した丘に研究室がある

プログラム：

- 「砂浜の連続性について」 清野聡子（九州大学）
- 「嘉陽海岸の護岸工事について」 安部真理子（日本自然保護協会）
- 「沖縄各地の砂浜について」 田代豊（名桜大学国際学群教授）

～ ディスカッション ～

場所：名護市大西公民館（西3丁目8-1 2 tel 0980-52-4630）

時間：4月13日（土）13:00-17:00

主催：日本自然保護協会、北限のジュゴン調査チーム・ザン

後援：沖縄県サンゴ礁保全推進協議会

問い合わせ：日本自然保護協会 安部 03-3553-4103,abe@nacsj.or.jp

※本セミナーは湿地のグリーンウェイブに参加しています

(<http://www.ramnet-j.org/gw/>)